

服用前にこの説明文書を必ず読むこと。
また、必要な時に読めるよう大切に保管すること。

第②類医薬品

解熱鎮痛薬 ツーシン錠

本剤は、頭痛・歯痛・生理痛・神経痛などの“痛み”や悪寒・発熱時の“熱”に対し、優れた鎮痛効果と解熱効果を発揮するよう処方した非ピリン系の解熱鎮痛薬です。

⚠ 使用上の注意

❌ してはいけないこと

（守らないと現在の症状が悪化したり、副作用・事故が起こりやすくなる）

1. 次の人は服用しないこと
 - （1）本剤又は本剤の成分によりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - （2）本剤又は他の解熱鎮痛薬、かぜ薬を服用してぜんそくを起こしたことがある人。
2. 本剤を服用している間は、次のいずれの医薬品も服用しないこと
他の解熱鎮痛薬、かぜ薬、鎮静薬、乗物酔い薬
3. 服用後、乗物又は機械類の運転操作をしないこと
（眠気等があらわれることがある。）
4. 服用前後は飲酒しないこと
5. 長期連用しないこと



相談すること

1. 次の人は服用前に医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
 - （1）医師又は歯科医師の治療を受けている人。
 - （2）妊婦又は妊娠していると思われる人。
 - （3）水痘（水ぼうそう）若しくはインフルエンザに かかっている又はその疑いのある乳・幼・小児（15歳未満）。
 - （4）高齢者。
 - （5）薬などによりアレルギー症状を起こしたことがある人。
 - （6）次の診断を受けた人。
心臓病、腎臓病、肝臓病、胃・十二指腸潰瘍
2. 服用後、次の症状があらわれた場合は副作用の可能性があるので、直ちに服用を中止し、この文書を持って医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

関 係 部 位	症 状
皮 膚	発疹・発赤、かゆみ
消 化 器	吐き気・嘔吐、食欲不振
精 神 神 経 系	めまい
そ の 他	過度の体温低下

まれに下記の重篤な症状が起こることがある。その場合は直ちに医師の診療を受けること。

症 状 の 名 称	症 状
ショック （アナフィラキシー）	服用後すぐに、皮膚のかゆみ、じんましん、声のかすれ、くしゃみ、のどのかゆみ、息苦しさ、動悸、意識の混濁等があらわれる。
皮膚粘膜眼症候群（スティーブンス・ジョンソン症候群）、中毒性表皮壊死融解症、急性汎発性発疹性膿疱症	高熱、目の充血、目やに、唇のただれ、のどの痛み、皮膚の広範囲の発疹・発赤、赤くなった皮膚上に小さなブツブツ（小膿疱）が出る、全身がだるい、食欲がない等が持続したり、急激に悪化する。

肝機能障害	発熱、かゆみ、発疹、黄疸（皮膚や白目が黄色くなる）、褐色尿、全身のたるさ、食欲不振等があらわれる。
ぜんそく	息をするときゼーゼー、ヒューヒューと鳴る、息苦しい等があらわれる。
間質性肺炎	階段を上ったり、少し無理をしたりすると息切れがする・息苦しくなる、空せき、発熱等がみられ、これらが急にあらわれたり、持続したりする。
腎障害	発熱、発疹、全身のむくみ、全身のたるさ、関節痛（節々が痛む）、下痢等があらわれる。

3. 服用後、次の症状があらわれることがあるので、このような症状の持続又は増強が見られた場合には、服用を中止し、医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること
眠気
4. 5～6回服用しても症状がよくなる場合は服用を中止し、この文書を持って医師、歯科医師、薬剤師又は登録販売者に相談すること

効能・効果

- 1) 頭痛・歯痛・抜歯後の疼痛・咽喉痛・耳痛・関節痛・神経痛・腰痛・筋肉痛・肩こり痛・打撲痛・骨折痛・ねんざ痛・月経痛（生理痛）・外傷痛の鎮痛
- 2) 悪寒・発熱時の解熱

用法・用量

年 齢	1 回 量	1日服用回数
15歳以上	3 錠	1 日 2 回を限度とし、なるべく空腹時をさけて服用すること。服用間隔は 6 時間以上おくこと。
11歳以上15歳未満	2 錠	
5 歳以上11歳未満	1 錠	
5 歳未満	服用しないこと	

- (1) 小児に服用させる場合には、保護者の指導監督のもとに服用させること。
- (2) 用法・用量を厳守すること。
- (3) 錠剤の取り出し方。
図のように錠剤の入っているPTPシートの凸部を指先で強く押し、裏面のアルミ箔を破り、取り出して服用すること。
（誤ってそのまま飲み込んだりすると食道粘膜に突き刺さる等思わぬ事故につながる。）



組成と作用 1日量6錠中に次の成分を含む。

成 分	6 錠中	主な作用
アセトアミノフェン	600mg	痛みをおさえ、熱をさげる。
エテンザミド	1000mg	痛みをおさえ、熱をさげる。
プロモバレリル尿素	240mg	痛みによるいらいを和らげる。
無水カフェイン	240mg	頭痛を和らげる。

添加物：バレイショデンプン、カルメロースCa、タルク、ショ糖脂肪酸エステル、ヒドロキシプロピルセルロース、メタケイ酸アルミン酸Mg、ステアリン酸Mg

保管及び取り扱い上の注意

- (1) 直射日光の当たらない湿気の少ない涼しい所に保管すること。
- (2) 小児の手の届かない所に保管すること。
- (3) 他の容器に入れ替えないこと（誤用の原因になったり品質が変わる。）。)
- (4) 配置期限を過ぎた製品は服用しないこと。

お問い合わせ先
田村薬品工業株式会社 お客様相談室
06-6203-5151
受付時間10:00～17:00(土、日、祝日を除く)

副作用被害救済制度のお問い合わせ先
(独)医薬品医療機器総合機構
<http://www.pmda.go.jp/kenkouhigai.html>
電話 0120-149-931(フリーダイヤル)

製造販売元

田村薬品工業株式会社
奈良県御所市西寺田50